

経済動向レポート

(R7年10月～11月を中心として)

令和8年1月 むかわ町商工会

本レポートは、次の各調査等を資料としてDI値を取りまとめたものを中心に取りまとめたものです。利用させて頂いた資料は、次のとおりです。レポート中においては、報告名称を使用させていただきます。

【調査資料名】

月例経済報告：北海道	北海道の景気に関する各種データや、企業からの聞き取りによる報告
調査ニュース：北海道銀行	北海道の各種指標からみた道内経済動向ニュース
とましん景況レポート：苫小牧信用金庫	主に胆振管内でのD.I.調査結果
中小企業景況調査：北海道商工会連合会	商工会地区でのD.I.調査結果

※D.I.指数：構成比(%)の差(「良い」-「悪い」による指数) ▲は、D.I.指数がマイナスになっている状態。

D.I.は景気に敏感な諸指標を選び、そのうちで上昇(拡張)している指標の割合を示すもので、景気局面の判断、予測、景気の転換点の判定に用います。D.I.は景気局面の方向性を表すもので、D.I.の大きさ自体は景気の拡張・後退の大きさとは直接関係ないとされます。

全業種概況	<ul style="list-style-type: none">➤ 12月の月例経済報告では、令和7年10月の経済指標を中心にみて、道内の経済動向は「持ち直しの動きが続いている」とし、前回と同じ表現となっている。➤ 1月の調査ニュースでは、令和7年10月～11月の経済指標を中心に参考として道内の経済動向は、「道内景気は緩やかに持ち直しているが、先行きは、持ち直し基調が続くと見込まれるものの、海外情勢をめぐる不確実性には注意を要する」となっている。観光、公共工事は高水準で推移し、個人消費、輸出、設備投資は持ち直しの動きが見られるが、住宅建築は下降傾向が見られる。生産は一進一退の動きになっており、雇用情勢は人手不足感の強い状態が続いている。➤ とましん景況レポートでは、令和7年7月～9月期で、業種別では、製造業・卸売業・小売業・建設業・サービス業で前期比改善、鉱業が横這い、運輸業・不動産業で後退となった。仕入価格D.Iは前期から上昇しているが、人手不足D.Iは前期から後退した。➤ 中小企業景況調査で商工会地区の経済動向をみると、業況では製造業・建設業・小売業・サービス業すべてで「後退」している。
その他の動向	<p>北海道銀行 調査ニュース 2026年の道内経済見通し(抜粋)</p> <p>2026年の道内経済は、物価上昇の鈍化と所得環境の改善を背景に、持ち直し基調が続くと見込まれる。消費者物価指数は伸びがピークアウトしており、ガソリン旧暫定税率の廃止や電気・ガス代補助の再開により、物価高是正への期待が高まっている。</p> <p>個人消費は賃上進展と家計負担の軽減を受け回復が継続の見通し。住宅投資は、前年の反動で増加するものの、住宅価格上昇が重しとなり水準回復は限定的となる。</p> <p>設備投資は、ラピダス社の先端半導体量産に向けた投資や、乳業・食料品製造業の工場建設、データセンター整備、電力会社の安全対策投資などにより、底堅く推移する見込み。政府消費は公務員給与の増加などから拡大が続く。</p> <p>公共投資は、国土強靱化計画や北海道新幹線札幌延伸工事を背景に高水準を維持するが、資材高の影響で実質では伸び悩むとみられる。</p> <p>輸出面では、ホタテを中心とする水産物が堅調に推移し、インバウンド回復によりサービス輸出も増加が期待される。</p>

業種業況（令和7年7月～令和7年9月期）とましん景況レポートNo.164より

業種別業況判断指数（D.I.）の推移

《構成比（%）の差（「良い」-「悪い」）による指数》

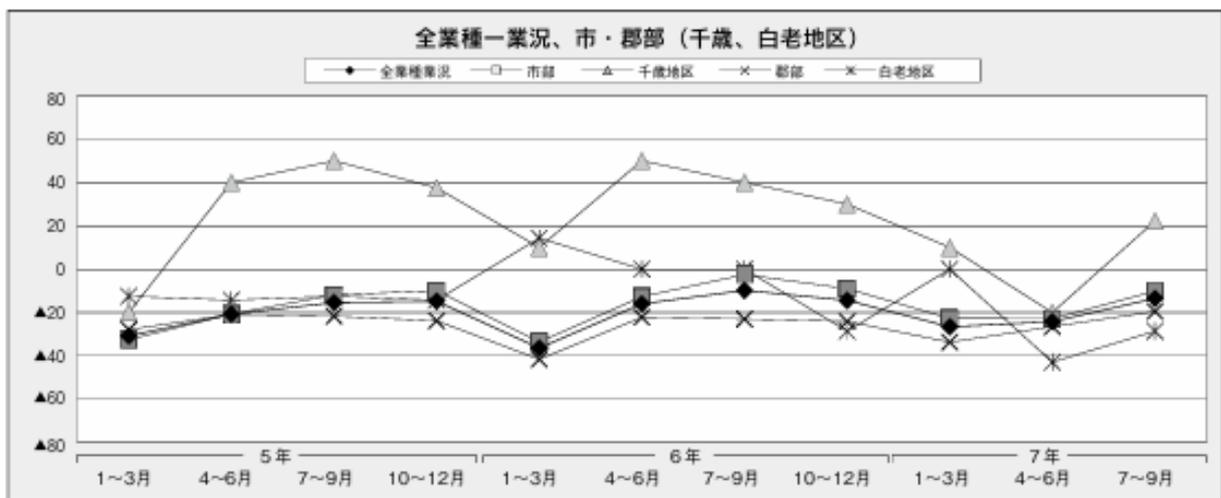
項目	令和5年		令和6年				令和7年			
	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月 予想
全業種	▲15.4	▲14.8	▲36.4	▲16.0	▲9.8	▲14.4	▲26.6	▲24.2	▲13.5	▲13.2
市部	▲11.9	▲9.9	▲33.6	▲12.7	▲2.5	▲9.0	▲22.7	▲22.9	▲10.1	▲10.3
千歳地区	50.0	37.5	10.0	50.0	40.0	30.0	10.0	▲20.0	22.2	11.1
郡部	▲21.7	▲23.8	▲41.6	▲22.2	▲23.0	▲24.1	▲33.7	▲26.5	▲19.5	▲18.4
白老地区	▲12.5	▲14.3	14.3	0.0	0.0	▲28.6	0.0	▲42.9	▲28.6	▲14.3
製造業	▲3.3	▲17.9	▲29.2	▲12.9	▲19.4	▲6.9	▲13.8	▲24.1	▲10.0	0.0
卸売業	▲9.5	▲13.6	▲61.9	▲8.7	▲12.5	▲8.7	▲50.0	▲39.1	▲30.4	▲22.7
小売業	▲6.9	▲36.7	▲44.2	▲24.1	▲7.1	▲36.7	▲33.3	▲38.6	▲18.6	▲31.0
建設業	▲17.0	▲6.0	▲32.0	▲20.0	▲16.7	0.0	▲30.8	▲32.0	▲10.7	▲3.6
運輸業	▲47.1	11.8	▲29.4	0.0	▲23.5	0.0	▲37.5	▲23.5	▲47.1	▲5.9
サービス業	▲32.6	▲13.3	▲38.6	▲22.7	▲2.2	▲17.8	▲14.0	▲10.9	▲4.4	▲8.9
鉱業	50.0	66.7	33.3	66.7	60.0	50.0	0.0	80.0	80.0	0.0
不動産業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲30.0	12.5	22.2	0.0	▲20.0

*▲はマイナス、少数点第2位四捨五入、以下文中数値、表、グラフすべて同じ。

全業種

— 業況判断指数、前期比10.7ポイント改善 —

回答事業所246件（回答率88.5%）



商工会では、下記のような問題の解決のため、補助金や専門家派遣、各種セミナーを開催しております。気になることがありましたら、商工会まで御相談ください

主な取組事例：インボイス、事業計画作成、SNS、プレスリリース、商談会対応、POP製作、Googleビジネスプロフィール対策、BCP(事業継続力強化支援計画)策定などのセミナー・個別相談

：新商品開発、資金繰り、販売促進のための専門家派遣

：HP作成、什器購入、新商品開発、看板導入による販売促進を伴う持続化補助金等の申請のサポート

小売業

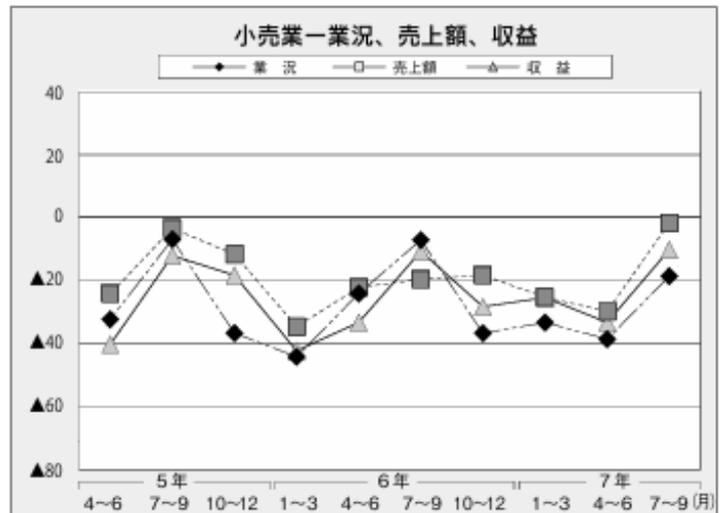
1. 業況、売上額、収益 (とましんレポート)

管内小売業 59 社による業況判断指数は「▲18.6」、前期比 20.0 ポイント改善、前年同期比では 11.5 ポイント後退した。地域別では、市部が「▲9.4」前期比 16.4 ポイント改善、郡部も「▲29.6」となり、前期比 24.2 ポイント改善した。売上額指数は「▲1.7」、前期比 28.1 ポイント改善、前年同期比でも 17.9 ポイント改善した。収益指数は「▲10.2」、前期比 23.2 ポイント改善、前年同期比でも 0.5 ポイント改善した。

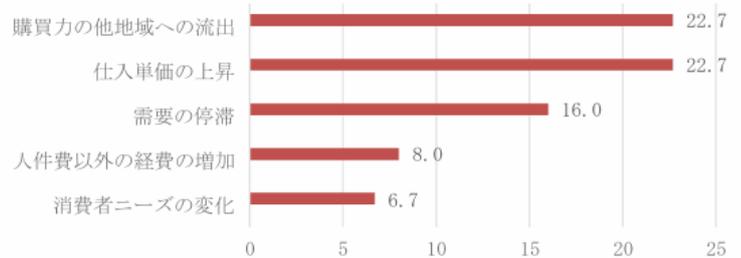
2. 経営上の問題点 (中小企業景況調査)

・北海道商工会連合会)

1 位は同率で、「購買力の他地域への流出」と「仕入単価の上昇」で「購買力の他地域への流出」は、1.6 ポイント増加し、「仕入単価の上昇」は、5.8 ポイント増加した。3 位は、前回 4 位だった「需要の停滞」で、3.7 ポイント減少した。4 位は前回番外の「人件費以外の経費の増加」で、0.5 ポイント減少した。5 位は、前回番外の「消費者ニーズの変化」で、1.1 ポイント増加した。



経営上の問題点



建設業

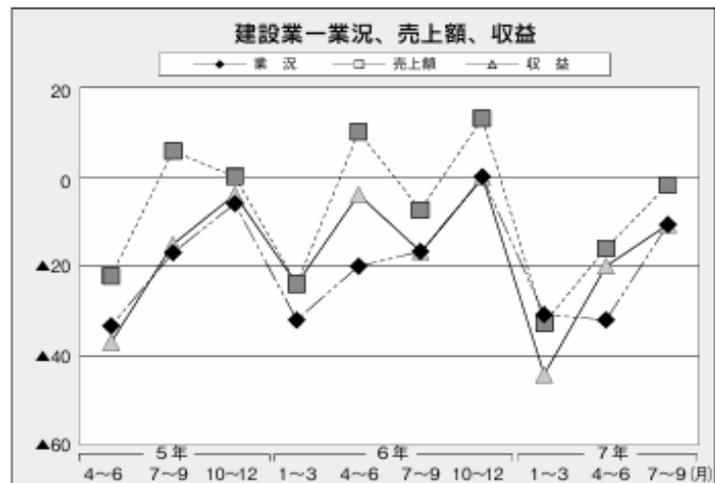
1. 業況、売上額、収益 (とましんレポート)

管内建設業 57 社による業況判断指数は「▲10.7」、前期比 21.3 ポイント改善し、前年同期比でも 6.0 ポイント改善した。地域別では、市部が「▲5.3」前期比 31.9 ポイント改善したが、郡部は「▲22.2」で前期比 2.2 ポイント後退した。売上額指数は「▲1.8」、前期比 14.2 ポイント改善し、前年同期比でも 5.6 ポイント改善した。収益指数は「▲10.7」、前期比 9.3 ポイント改善し、前年同期比でも 6.0 ポイント改善した。

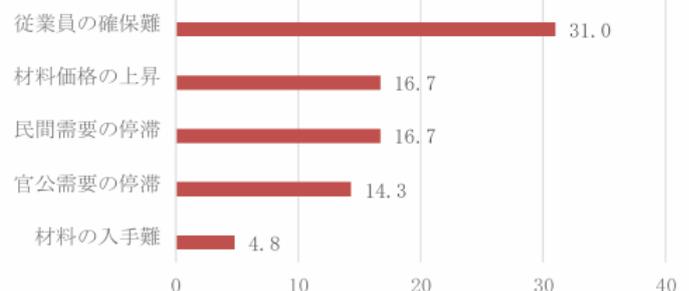
2. 経営上の問題点 (中小企業景況調査)

・北海道商工会連合会)

1 位は前回同様「従業員の確保難」で 2.8 ポイント増加した。2 位は同率で「材料価格の上昇」と「民間需要の停滞」で、「材料価格の上昇」は 8.9 ポイント減少し、「民間需要の停滞」は 1.3 ポイント増加した。4 位は前回 5 位だった、「官公需要の停滞」で、6.6 ポイント増加した。5 位は前回番外の「材料の入手難」で、4.8 ポイント増加した。



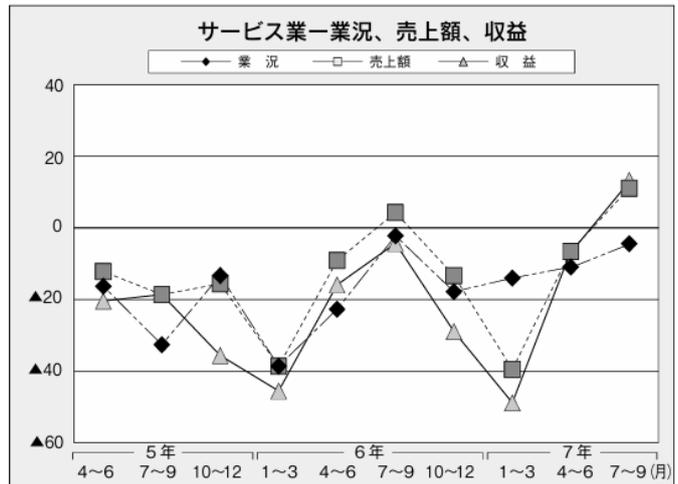
経営上の問題点



サービス業

1. 業況、売上額、収益 (とましんレポート)

管内サービス業 45 社による業況判断指数は「▲4.4」、前期比 6.4 ポイント改善したが、前年同期比では 2.3 ポイント後退した。地域別では、市部が「▲3.2」前期比 12.4 ポイント改善、郡部では「▲7.1」前期比 7.1 ポイントの後退であった。売上額指数は「11.1」、前期比 17.6 ポイント改善、前年同期比も 6.8 ポイントの改善となった。収益指数は「13.3」、前期比 19.9 ポイント改善、前年同期比でも 17.7 ポイントの改善となった。



2. 経営上の問題点 (中小企業景況調査)

・北海道商工会連合会)

1 位は前回 2 位だった「材料等仕入単価の上昇」で 4.8 ポイント増加した。2 位は前回 3 位だった「需要の停滞」で 3.1 ポイント減少した。3 位は同率で「利用者ニーズの変化」と「店舗施設の狭隘・老朽化」で、「利用者ニーズの変化」は、8.9 ポイント減少し、「店舗施設の狭隘・老朽化」で 0.6 ポイント減少した。5 位は前回番外だった「人件費以外の経費の増加」で 4.3 ポイント増加している

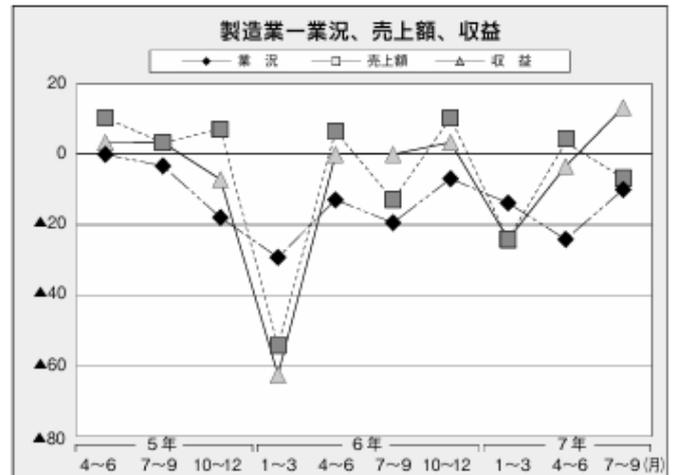


製造業

1. 業況、売上額、収益 (とましんレポート)

管内製造業 30 社による業況判断指数は「▲10.0」、前期比 14.1 ポイント改善、前年同期比についても 9.4 ポイント改善した。地域別では、市部が「0.0」前期比 20.0 ポイント改善、郡部は「▲33.3」前期比「横這い」であった。売上額指数は「▲6.7」、前期比 10.1 ポイント後退したが、前年同期比は 6.2 ポイント改善した。

収益指数は「13.3」、前期比 16.8 ポイント改善し、前年同期比でも 13.3 ポイント改善した。



2. 経営上の問題点 (中小企業景況調査)

・北海道商工会連合会)

1 位は前回同様 1 位だった「原材料価格の上昇」で、8.2 ポイント減少している。2 位は、同率で「製品ニーズの変化」と「生産設備の不足・老朽化」で、「製品ニーズの変化」は 4.6 ポイント増加し、「生産設備の不足・老朽化」は 2.1 ポイント増加している。4 位は、前回 2 位だった、「需要の停滞」で、5.3 ポイント減少している。5 位は、前回同様「原材料の不足」であり、2.3 ポイント増加している。

